

ひとひとり



文・絵 藤田 進 (河内長野市)

第五回 葉室 麟 (作家)

葉室麟さんをご存知ですか。『蝸ノ記』で直木賞を受賞された方でございます。どんな方だろうと、最初に手に取ったのが『いのちなりけり』。これがとつとも面白く面白い。

冒頭、あの水戸光圀が屋敷内で水戸藩の中老を切り殺します。なぜ斬ったかわからない。その理由が明らかにされるのは3分の2ほど読み進んでから。それから時間を遡り舞台も九州へ。そう



を読み続け、たぶん全作品を読んだと思います。これだけ読んだのは藤沢周平さん、司馬遼太郎さん、池波正太郎さん、ジエフリー・ディーヴァーぐらいでしょうか。

一人ひとりの人物像がくっきりと描かれていまして、否が応でも物語の世界に引き込まれてしまします。

高原の乱の九州。そこから、ストーリーはジエック・トコースターのような展開に。これは歴史小説でありながら、ラブストーリー

たと言っておりまして。みなさんも一度騙された心にくいかぎり。ちなみに、つい先ほど読み終わったのが『山月庵茶会記』これもお勧め。

確かな人物描写が魅力

葉室麟さんの書く文章には、何か人をひきつけるものがあります。

北朝鮮「危機」と安倍政権 ①

政治学者・浅井基文氏に聞く

政府は、テレビCM、新聞広告などで、北朝鮮が発射した弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合の避難方法を期間を限定し、発信している。メディアが北朝鮮危機を煽り、「北朝鮮への攻撃は当然」といった議論が出されるなど、日本社会の雰囲気がかおかしい。外務省のアジア局中国課長などを歴任した政治学者の浅井基文氏に話を聞いた。

北朝鮮の核・ミサイル開発が今回の事態を招いた出発点だと思いが「北の脅威」をどう見るか？

軍事的な「脅威」の定義は、「攻撃する能力」と「攻撃する意思」の二つが条件だ。確かに朝鮮(北朝鮮)は攻撃能力を持っているが、それを使った瞬間、米軍の報復で国は崩壊する。それが分かっているから攻撃を仕掛ける意思があるはずがない。そうした

意味で、「脅威」ではないというのが軍事的常識である。拉致問題や金正男氏暗殺疑惑など、何を

で、金政権は国際的な後ろ盾を失った。核開発は、そんな彼らが自己の政権

の存続を図るための手段としてスタートした。94年に米クリントン政権との間で合意された

「米朝枠組合意」が履行され、米朝の関係が正常化していれば、核開発はストップしていたと思

つくられた北朝鮮脅威論

う。しかし、ブッシュ政権はこの合意を破棄。イラン、イラクと並ぶ「悪の枢軸国」として名指した。2003年にイラクが米国に侵攻された後、金正恩朝鮮労働党委員長の父、金正日が「次は自分」と危機感を募ら

せたのは当然だろう。これが、核開発を朝鮮がしかりに進めた理由である。米朝や韓国から攻められない報復力を持つことによって、金正恩政権の存続を図ろうと

しているのだ。憲法改悪まで突っ走りたいのが本音だろう。ところがミサイル4発を日本海に等間隔で落とすなど朝鮮のミサイル技術が向上。日本に核兵器を落とす能力を持つ事態

となった。そんな状況下

社保研究部

歯周治療で返戻増

講習会で注意点解説

社保研究部は6月3日、歯周病治療患者に対する、定期の回復した初診料算定(いわゆる、再初診リコール)について、多数のレセプトが返戻されている状況をうけ、歯周治療を二から見直す社保講習会「通用す

るの?再度の初診リコール」を、M&Dホールで開催した。吉田裕志社保研究部長と小山賢一(同部員を講師に、11人参加した。この返戻されたレセプトの多くに見られる特徴は、「PやGなどの慢性疾患について、治療中断後、同一病名による再度の初診や歯管を算定している」点であると紹介。その上で、初診や歯管の保険算定上のルール、注意点について解説した。また、歯科審査の基本的な考え方や一般的な返戻事例を紹介し、レセプト作成上の注意点についても解説した。

でトランプ米政権が登場。「いきなり北朝鮮に殴り掛かるんじゃないか」と安倍政権も緊張したはずだ。シリアへの米軍の空爆に対して、安倍首相は支持を表明する一方で武力行使への評価を避けた。この歯切れの悪い発言の裏に、トランプの軍事的暴走に対する懸念が透けて見える。

日本国内には「北朝鮮はとんでもない国だから攻撃してもいい」といった雰囲気すらある。米韓合同演習のテーマは「金正恩の斬首作戦」だったが、マスコミはそれを当然というような視点で報道した。北朝鮮は、170カ国以上から承認されている国連加

盟国だ。その政権トップを暴力的に排除するのを「当たり前」とする報道が横行すること自体、日本のメディアの異常性を明らかにしている。もしそんな事態になったら、北朝鮮は「在日米軍基地に(核ミサイルを)打ち込む」とはっきり言っている。例えば横田基地に落とされたら東京はどうなるのか、原発を標的にされたらどうなるのか。それを真剣に考えた対応を取るべき段階にきている。(つづく)

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

北河内地区講習会
要介護高齢者の訪問歯科とオーラルフレイル

日時 7月22日(土) 午後6時〜8時
会場 OMMビル2階 205会議室
講師 吉田春陽氏(守口市開業)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人

大阪市西部地区講習会
保険治療で「こまごま」できる審美的歯冠修復治療

日時 8月6日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 末瀬一彦氏(一社・日本デジタル歯科学会理事)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 100人

2017 税務調査対策セミナー(医科・歯科共催)
税務調査をめぐる最近の動向と日常の留意点

日時 8月26日(土) 午後3時〜5時
会場 保険医会館5階
講師 疋田英司氏(協会医業税理士団副団長)
会費 会員・家族無料 定員 50人

8月度生涯研修
歯列不正・咬合異常の予防―生物学的機能療法と床矯正を中心に

日時 8月27日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール
講師 畑崎清孝氏(堺市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 100人

9月度生涯研修
小児の歯科治療(仮題)

日時 9月10日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール
講師 仲野道代氏(岡山大学歯学部総合研究科小児歯科学教授)
会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 100人

大阪市東部・北部地区講習会
手軽に市販の機材で、明日から始める口腔内カラー写真撮影

日時 9月30日(土) 午後6時〜8時
会場 保険医会館5階会議室
講師 宇治田竜一氏(大阪府中央区開業)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。